



2009年の話題作、みうらじゅん原作「色即ぜねれいしょん」や松山ケンイチ主演「ウルトラミラクルラブストーリー」の映画音楽を担当したミュージシャン・作曲家の大友良英氏を迎えます。ミュージシャンや舞踏家との即興演奏で知られ、テレビドラマ/CF音楽など映像作品の音楽も手がけるなどその活動は広範に及びます。大友初のドキュメンタリー映画上映とトークを通じ、現在各方面のクリエイターやアーティストからひっぱりだこの大友の実像と創作の原動力に迫ります。貴媒体にて広く掲載・周知いただけるようお願い申し上げます。

二十一世紀塾とは 2008年度からスタートしたトークシリーズ。様々なジャンルで活躍するアーティストや知識人との話を定期的に設置し、現在彼らが何を考え将来何を見据えているのかを引き出す、いわば二十一世紀の寺子屋です。

タイトル	二十一世紀塾 二〇〇九 no.2 「大友良英を解剖する」 小沢康夫 × 大友良英
日時	2010年1月9日(土) 15:30開場 16:00開演 (19:00終演予定) 第1部:映画上映(約100分) 第2部:トーク
会場	金沢21世紀美術館 シアター21
料金	前売 ¥1,500 / 当日 ¥2,000 (全席自由・1ドリンク付) ※友の会会員は優先入場特典があります。開場の10分前にお集りください。(入場時、会員証提示)
チケット取扱	金沢21世紀美術館ミュージアムショップ TEL 076-236-6072 チケットぴあ [Pコード:615-716] http://t.pia.jp/ (電子チケットぴあ) TEL 0570-02-9111(オペレーター対応) TEL 0570-02-9999(自動音声) ローソンチケット[Lコード:56883]
主催・お問合せ	金沢21世紀美術館 [(財)金沢芸術創造財団] TEL 076-220-2811(交流課)

本資料に関する
お問い合わせ

金沢21世紀美術館 広報担当/黒田 事業担当/近藤、出戸
〒920-8509 金沢市広坂1-2-1
TEL 076-220-2814(広報室) FAX 076-220-2802
<http://www.kanazawa21.jp> E-mail: press@kanazawa21.jp



プログラム

＜第1部＞「KIKOE」映画上映（約100分）

大友氏と関わる音楽家、評論家、アーティストなど総勢100名へのインタビューと記録映像により構築した初のドキュメンタリーを上映。

＜第2部＞トーク 小沢康夫 × 大友良英

小沢康夫氏（舞台プロデューサー、日本パフォーマンス／アート研究所代表）が大友氏と対談。その実像と創作の原動力に迫ります。

「大友良英を解剖する」

—なぜこんな大仰なタイトルをつけてしまったのか？

大友良英さんに音楽の話をしていただくわけではない。大友さんの音楽世界は、岩井主税監督によるすぐれたドキュメンタリー映画「KIKOE」に譲るとして、私は大友さんの多方面に及ぶ活動の原動力が、いったい何処から来ているのか、お聞きしたいと思っている。

常にインディペンデントとしての姿勢を貫き、あらゆるミュージシャンやアーティストとコラボレーションをするそのスタンスは、表現活動を実践するすべての人達や、これから新しいことを始めようとする若い人達にとって重要な示唆を与えてくれることでしょう。

—はたして、大友良英はいま何を考えているのだろうか？

小沢康夫

映画「KIKOE」



監督、製作、編集、撮影、インタビュー：岩井主税

翻訳：木幡和枝、尾崎薫子、ベトル・ホリー、クリストフ・シャルル

整音：近藤祥昭、大友良英、葛西敏彦

2009年／日本／カラー／DV／ステレオ／99分

1990年代から2007年までの大友良英の活動に焦点を合わせた大友初のドキュメンタリー映画。大友本人や彼と関わりのある多くの音楽家、評論家、アーティストなど総勢100名ほどの記録映像やインタビューなど500時間にも渡る膨大なアーカイブズを岩井主税独自の切り口で99分に構築した奇妙な時間の綱渡り。

プロフィール



大友 良英 Yoshihide Otomo

1959年生。ギタリスト / ターンテーブル奏者 / 作曲家 / プロデューサー。

ONJO, INVISIBLE SONGS, 幽閉者, FEN等常に複数のバンドを率い、またFilamnet, JoyHeights, I.S.O.等数多くのバンドに参加。常に同時進行かつインディペンデントに多種多様な作品をつくり続け、その活動範囲は世界中におよぶ。ノイズやフィードバックを多用した大音量の作品から、音響の発生そのものに焦点をあてた作品に至るまでその幅は広く、ジャズや歌をテーマにした作品も多い。映画音楽家としても田壮壮監督「青い嵐」等の中国映画から相米慎二、安藤尋、足立正生、田口トモロヲといった日本を代表する映画監督の作品、横浜聡子等若手監督の作品、テレビドラマ、CFの音楽等、数多くの映像作品の音楽を手がける。近年は美術家とのコラボレーションも多く、自身でもサウンドインスタレーションを手がけ、2008年には山口YCAMでの大規模展示「Ensembles」展を行う一方、障害のある子どもたちとの音楽ワークショップにも力をいれている。著書に「MUSICS」(岩波書店)「大友良英の JAMJAM日記」(河出書房)がある。

<http://www.japanimprov.com/yotomo/yotomoj/>



photo: CHIKASHI KASA

小沢 康夫 Yasuo Ozawa

プロデューサー、日本パフォーマンス／アート研究所代表。

2003年、企画制作会社プリコグ設立。2008年に代表を退き、後進に譲る。同年、日本パフォーマンス／アート研究所を設立。コンテンポラリーダンス、現代美術、現代演劇、メディア・アート、音楽など既存のジャンルにこだわる事なく、独自の視点でプロデュースする。

最近の主な活動として、ラフォーレ原宿30周年企画「HARAJUKU PERFORMANCE +Special」、金沢21世紀美術館「二十一世紀塾」、美学校「超・日本・パフォーマンス論」、ヨコハマ国際映像祭2009オープニングパフォーマンス「停電EXPO」、Postmainstream Performing Arts Festival 2010など。

<http://j-pai.net/>

※上記プログラムについて、貴媒体にて広く掲載・周知いただきますようよろしくお願い申し上げます。

※プロモーション映像は、web (<http://www.kanazawa21.jp/>) をご覧下さい。

※写真をご希望の場合や当日のインタビュー及び取材をご希望の方は、広報室までお申し付けください。お待ちしております。